収第205号
8.1.30
庄内町議会

「町民と語る会」報告書

開催日時	令和7年12月18日	午後1時30分 ～ 午後3時
団体等名	一般社団法人庄内町シルバー人材センター	
開催場所	庄内町役場4階　委員会室1	
出席議員	石川保　工藤範子　奥山康宏　小野一晴　渡部伊君子　石川武利	
参加人数	庄内町シルバー人材センター理事長、理事7人　監事2人、 事務局長他職員1人	
主な「質疑」「意見」「要望」「提言」など	要望　（シルバー人材センター） 【補助金増額について】 シルバー人材センターを取り巻く環境については、定年制の延長が影響するなど、会員数が減少傾向にあることに加え、インボイス制度の導入やフリーランス新法施行により、それに伴う新契約方式への対応など、センター事業そのものが厳しい経営環境にあることから、町に対して「庄内町高年齢者就業機会確保事業費等補助金」の増額を要望している。議会からも理解していただきたい。 【新たな事務所の確保について】 現在の余目老人福祉センターの事務所は老朽化していることから、新たな事務所として旧狩川コミュニティセンターを使用することを町に希望している。現行指定管理期間の満了に関連し、令和8年度に指定管理者の指定を受けるべく準備している。議会からも理解していただきたい。 質問　（議員） 令和8年10月より、仕入れ課税控除が50%しか認めてもらえなくなると思うが、センターの経営に影響するのか。 回答　（シルバー人材センター） 現行、80%の課税控除が50%に変わるため、その対策として新契約 （2号様式に続く）	

庄内町議会議長　殿

令和8年1月30日

庄内町議会「町民と語る会」実施要領の規定により提出します。

令和7年度町民と語る会

総務文教厚生常任委員会

委員長　工藤　範子

書記　　小野　一晴

「町民と語る会」報告書（2号様式）

主な「質疑」「意見」「要望」「提言」など	方式に移行することになる。新契約移行後には、会員業務委託に係る消費税の負担が発注者負担となることから、依頼件数が減ることも考えられ、経営への影響は大きいと思われる。対策として、本町のみならず隣接市からの事業請負を増やすことを考えている。そのために職員の増員も考えていることから補助金増額を要望している。 質問　（議員） 組織を広域化している地域もあるが、メリットはあるのか。 回答　（シルバー人材センター） 県内を見ると、小規模な町村が事務的経費などのスケールメリットをだすために広域化しているようだ。本町センターの規模と事業実績であれば広域化の必要性はないと思われる。また、会員数の拡大にもつながるため、補助限度額区分のランクアップが見込まれることから財源確保等の点からもメリットは考えられる。 質問　（議員） 会員に対する傷害保険は入っているのか。安全管理はしているのか。 回答　（シルバー人材センター） 傷害保険には入っている。また、基本的に二人で作業とし、一人作業は極力しないようにしている。多人数の場合は、班長を決め安全管理するようにしている。また、剪定等3m以上の高さには上らないことにしている。 質問　（議員） 旧狩川コミュニティセンターの指定管理を受けた場合、まちづくりセンター等で大ホールを貸館利用できるのか。 回答　（シルバー人材センター） 現在の貸館スペースは、引き続き利用できるようにする。その際は、減免対象の確認をしたうえで利用料は発生することになると思う。 質問　（議員） シルバー人材センターの利用料金に基準はあるのか。 回答　（シルバー人材センター） 職種により賃金単価に差はあるが、山形県の最低賃金（1,032円）を基準にして算出している。 質問　（シルバー人材センター） センターでは、事務所の移転後には地域の賑わいづくり事業を検討している。この取り組みが「庄内町高年齢者就業機会確保事業費等補助金」の対象として組み入れることが可能であれば、国からの補助金も増額できることになる。議会からも理解していただきたい。 回答　（議会） 今後の可能性として承る。 質問　（シルバー人材センター） センターで選挙ポスター掲示板の設置を請負っている。設置に危険を感じる場所が指定されている。その都度、選挙管理委員会に伝えてはいるが、諸事情があるのか中々改善されない。改善していただきたい。 回答　（議会） 担当課に伝えるので、具体的な場所を教えてほしい。

「町民と語る会」報告書（２号様式）

	質問　（シルバー人材センター） 　管理の不十分な空き家の持ち主に、除草等の管理をシルバー人材センターに依頼できることを、町から情報提供していただけないか。 回答　（議会） 　担当課に伝える。 （以上）